

事業所所在地

本社／本社工場

〒373-0814
群馬県太田市朝日町 558-1
TEL 0276-48-3131(代) FAX 0276-48-3130

関東納整センター

〒370-0531
群馬県邑楽郡大泉町いずみ 1-1-2
TEL 0276-48-0821 FAX 0276-48-0971

渡良瀬第2ディストリビューションセンター

〒373-0019
群馬県太田市吉沢町 970 (DPL群馬太田)
TEL 0276-47-4148 FAX 0276-47-4149

館林ワークス

〒374-0042
群馬県館林市近藤町 725-2
(日本運輸(株)第3倉庫内)
TEL 0276-76-2080 FAX 0276-76-2081

宇都宮事業所

〒320-8564
栃木県宇都宮市陽南 1-1-11
(株)SUBARU 宇都宮製作所内
TEL 028-659-5830 FAX 028-659-5832

神奈川納整センター

〒243-0303
神奈川県愛甲郡愛川町中津 2536-1
TEL 070-3053-1296

半田事業所

〒475-0032
愛知県半田市潮干町 1-27
(株)SUBARU 半田工場内
TEL 0569-29-5771 FAX 0569-29-5115

中部納整センター

〒509-5122
岐阜県土岐市土岐津町土岐口南山 1289-6
TEL 0572-55-4111 FAX 0572-55-1733

関西納整センター

〒595-0074
大阪府泉大津市小津島町 4-8
TEL 0725-31-4100 FAX 0725-31-4108

九州納整センター

〒812-0051
福岡県福岡市東区箱崎埠頭 6-5-6
TEL 092-633-5700 FAX 092-633-5701

北海道納整センター

〒059-1362
北海道苫小牧市字柏原 6-428
TEL 0144-82-9915 FAX 0144-82-9916



株式会社スバルロジスティクスは、SUBARUグループ唯一の物流会社です。

SUBARU LOGISTICS



SUBARU Group

株式会社 スバルロジスティクス

SUBARU LOGISTICS CO.,LTD.



私たち株式会社スバルロジスティクスは、「安全、品質、コスト」において
株式会社SUBARUグループにおける唯一のロジスティクス企業です。

高い競争力を持つ

トップメッセージ

当社は、(株)SUBARUが100%出資する総合物流企業です。2004年7月に発足、2024年には会社創立20年を迎えることができました。

当社においては、SUBARUの工場で生産された自動車を工場からお客様のもとへ届くまでの輸送と、納車整備、海外生産工場向けの部品梱包・輸送、補修部品の出庫管理、航空機生産用部品の出庫管理などを行っております。

四半世紀に至る経験と実績を生かし、当社ならではの高品質且つ高付加価値なビジネスをご提案することで、SUBARUや関連会社、さらに一般のお取引先様から「選ばれる」会社であることを目指しております。

私たちは、お客様からのご要望に対してプロの技術と技能で、SUBARUを始め、多くの企業をロジスティクス面でサポートし、物流を通して豊かな社会づくりに貢献致します。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

SUBARUの「安心とゆしさ」を全世界へ



会社概要

社 名	株式会社スバルロジスティクス
設 立	2004年7月1日(合併) ・スバル物流株式会社 1986年3月27日 ・スバル梱包輸送株式会社 1988年10月13日
資 本 金	9,600万円(株式会社SUBARU100%出資)
売 上 高	270億円(2025年度実績)
代 表 者	代表取締役社長 日野 友貴
従 業 員	581名 正規:364名/嘱託・パート:217名 (2026年6月1日現在)



代表取締役社長 日野 友貴

私たちのあゆみ

1986年3月 スバル物流株式会社 設立	2004年7月 合併により、株式会社 スバルロジスティクス設立	2008年1月 宇都宮事業部を設立し、 航空宇宙カンパニー 業務開始	2009年11月 埼玉事業部を設立し、 産業機器カンパニー 業務開始	2010年10月 半田事業所 設立	2012年8月 スバルロジスティクス 労働組合結成
----------------------------	---------------------------------------	---	---	-------------------------	---------------------------------

2015年8月 ISO39001: 2012認証取得	2018年4月 東北納整センター 開設	2019年12月 神奈川納整センター 開設	2023年4月 完全子会社「株式会社スバル 流通サービス」を吸収合併	2025年9月 館林ワークス 設立	2026年5月 北海道納整センター 設立
----------------------------------	---------------------------	-----------------------------	--	-------------------------	----------------------------

SUBARU LOGISTICS

2013年2月 ISO14001: 2004認証取得	2017年2月 ISO9001:2015認証取得/ ISO14001:2015認証取得	2018年5月 太田納整センターを大泉町に 拡大移転 「関東納整センター」に改称、 アクセサリセンター併設	2023年3月 マレーシアCKDを 終了	2024年1月 渡良瀬ディストリビュー ションセンター設立	2026年1月 神奈川納整センター 設立
----------------------------------	---	---	----------------------------	-------------------------------------	----------------------------

VISION

企業理念

私たちは、常に、車社会・地域社会の顧客のニーズに密着した物流事業 及び 関連事業を通じて、豊かな社会づくりに貢献します。

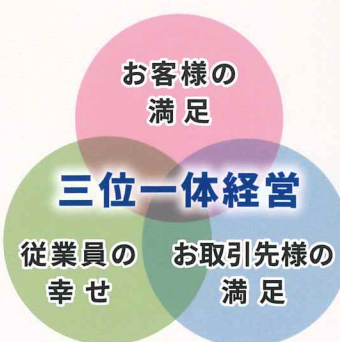
1. 常に、先進の物流システムの開発、管理技術の向上に努め、お客様に喜ばれる高品質のサービスと商品を提供します。
2. 環境の変化に迅速に対応し、感性豊かな活力ある企業を目指します。
3. 夢と希望を持ち、創造性と個性を発揮し、豊かな生活を目指します。

社 是

三位一体経営

当社は、「お客様」「お取引先様」「従業員」の3者すべての満足と幸せを同時に高める「三位一体経営」を行っています。

この3つを揃って満たすことで、企業の持続的な成長と社会への貢献が可能になると確信しています。



品質方針

私たちは、お客様の信頼にお応えする『品質』をお届けします。

1. 法令を知り、法令を守って仕事をします。
2. 自分たちの仕事も「品質」と考えて、常に向上させます。
3. 同じ失敗を繰り返さないために真因をとことん追究します。
4. 現状に満足することなく、車両・自動車部品・航空部品の梱包輸送、納車整備の品質向上に努めます。

SUBARUグループの唯一の物流会社として社会的責任を果たします

ISO9001・14001 認証活動

全世界へ物流を展開するSUBARUグループ唯一の物流会社として、ISOをツールとして環境にやさしい物流システムを構築すると共に、グローバルスタンダード(世界標準)に基づいた業務品質の向上へとつなげ、常に継続的改善を意識した活動に取り組んでいます。

ISO9001 : 品質マネジメントシステム

ISO14001 : 環境マネジメントシステム

〈認証適用範囲〉

ISO9001 : 全本部

ISO14001 : 航空宇宙事業本部以外の本部



SUBARU LOGISTICS の根幹を支える4つの部門

世界のお客様へ
安全安心にSUBARU車をお届け



自動車

完成車物流本部

納整事業本部

世界のSUBARU車製造に貢献



自動車部品

CKD事業本部

保管輸送事業本部

SUBARU航空宇宙カンパニーの
航空機製造に貢献

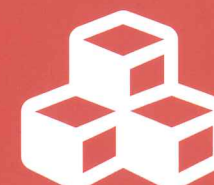


航空宇宙

航空宇宙事業本部

宇都宮事業所 / 半田事業所

会社を支えるコントロールタワー



共通

企画管理本部

スバルロジスティクスのCSR重点施策



- ・寄付活動
(災害備品、フードドライブ)
- ・地域清掃活動
- ・団体献血
- ・交通ボランティア
(タウンウォッチャー)



- ・交通安全募金活動



- ・子育て支援(くるみん認定、群馬県いきいきGカンパニー認証)
- ・障がい者の職場環境整備
(音声の文字変換機材の導入など)



- ・リサイクル(樹脂計廃棄物のリサイクル化、リターナブル容器の利用)
- ・CO2フリー電力導入





自動車

完成車物流本部

Vehicle Transportation Division

全国のSUBARU特約店や輸出港まで

安全・確実にSUBARU車をお届け

SUBARUで生産された車両を、全国のSUBARU特約店および国内各地の輸出港に輸送しています。安全かつ確実に納車するために、高品質で効率的な輸送計画の立案と輸送管理を行っています。大型SUVから軽自動車の形状と重量、キャリアカーや専用船の積込台数など、様々な条件を考慮しながら、最も効率的な輸送方法を日々追求しています。

私たちの役割は
“安全かつ効率的”な搬送計画やルート案を立てることで、港や特約店への搬送は、協力会社様にお願いしています。



国内・海外輸送 **2,460** 台/日

完成車物流業務の流れ

SUBARUで生産された車両をキャリアカーに積み込み、一時保管先の新車プールへ搬送します。その後、海外輸出車両は輸出用の船積計画に合わせて各積出港へ搬送し、国内販売車両はお客様のご注文に合わせて全国4カ所の納整センターおよびSUBARU特約店へ搬送します。

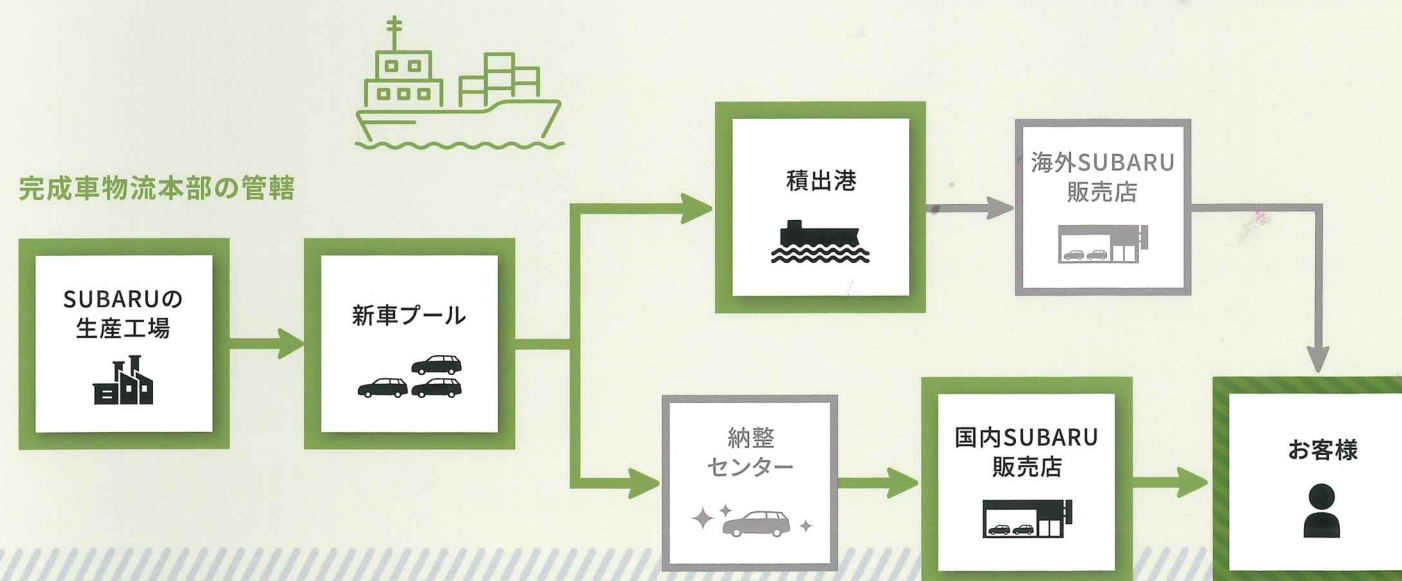


安全・効率的な輸送サービスを提供

SUBARU車を全国に輸送するため、陸上・海上合わせて100以上のルートを設定し、納期・品質・輸送安全を確保した効率的な輸送を行っています。また、生産工場から出荷されたSUBARU車の輸送状況や在庫を管理するシステムを使用し、お客様の要望に合わせた輸送もを行っています。さらに、輸送安全キャンペーンを定期的実施することで、安全意識および輸送品質の向上に努めています。近年では、環境への影響も配慮し、環境負荷の少ない輸送ルートの設定や機材の使用にも取り組んでいます。



陸上・海上輸送ルート数 **100** 以上





自動車

納整事業本部

PDI Business Division

磨き上げた“納車整備技術”で
一台一台を丁寧に仕上げます

SUBARU特約店からのオーダーを受け、新車を購入したお客様のご注文通りにオプション用品の取付、ボディコーティング、床下防錆塗装の施工など、納車整備を行っています。作業は国内6カ所の納整センターで実施され、SUBARUグループの一員として、お客様へ納期通りに高品質な商品をお届けするため、日々の作業工程管理や品質管理に努めています。



納車整備のことを略して、
『納整』といいます。

実際の納整作業は協力会社様をお願いしており、
私たちは作業のスケジュール管理や品質管理など、
全体統括の役割を担っています。



取付用品点数 **2,080** 個/日



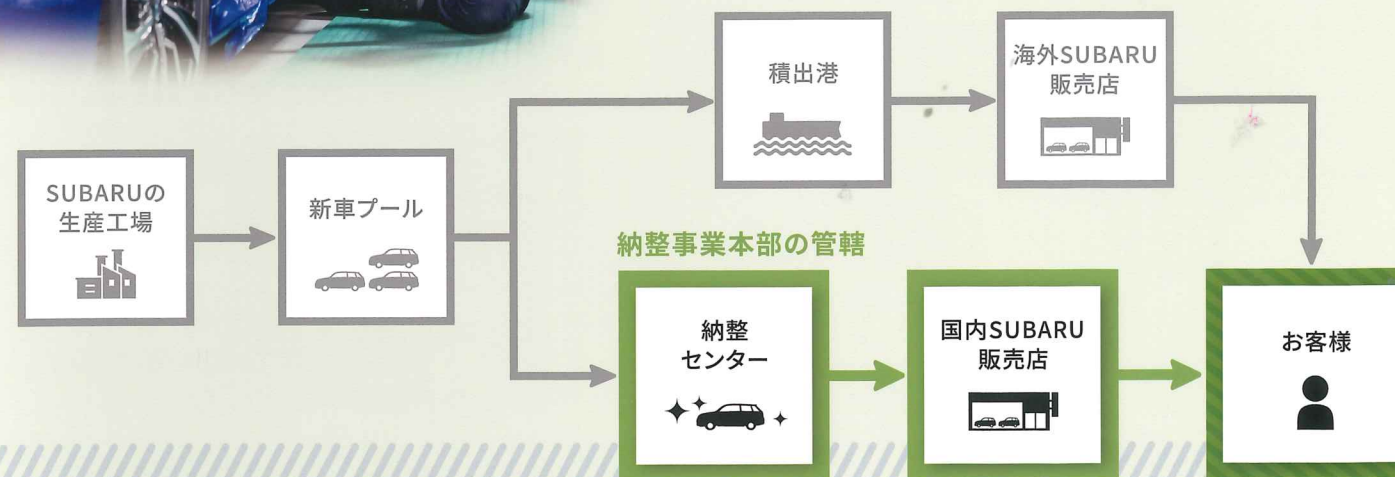
SUBARUグループとして期待される
高い納整品質と生産性を追求

電子制御の占める割合が増え、用品取付作業もそれに比例して高度化しています。納整事業本部ではSUBARUグループの一員である強みを活かし、株式会社SUBARUの新車開発に携わり、用品取付作業により得たノウハウを新車設計に反映しています。用品を取り付けやすい車体構造設計を提案することで、納整品質をより高める取り組みを行っています。



完成検査員1名の
検査台数

607 (平均値) 台/月



納整業務の流れ

生産工場から出荷された新車に対し、SUBARU特約店からのオーダーに基づき納車整備業務を受注します。納期は販売店到着希望日と作業枠を考慮し、システムで特約店へ回答します。その後、車両と用品等が揃うと納整作業を開始します。作業完了後は完成検査場で車両と用品の機能や品質をチェックし、販売店へ搬送します。



1 基準点検



2 洗車



3 拭き上げ内外観検査



4 用品取付



5 ボディコーティング



6 完成検査



自動車部品

CKD事業本部

CKD Business Division

日本から米国へ、

SUBARUの自動車製造を支える

グローバルロジスティクス

SUBARU車を生産するための部品の梱包・輸送を行っています。SUBARUのアメリカ工場向けの部品を扱い、生産計画に合わせて出荷スケジュール管理や梱包作業、資材調達などを行っています。



CKDのKDはノックダウン
(Knock Down)の略で、

自動車を構成する部品を海外に送り、
現地で組み立てて完成車にする
製造技法のことです。



出荷数 コンテナ **30** 本/日

コンテナ：トラックや船で運ぶための箱



CKD事業業務の流れ

米国インディアナ州にあるSUBARU車生産工場向けに、日本国内サプライヤーから生産部品の納品を受け、現地の生産計画に合わせて部品の梱包作業やコンテナ積み込みを行っています。工場内の作業では、自社で設計した高度なシステムを導入し、作業工数削減や作業ミス低減を図っています。



過酷な長距離輸送下での 品質を確保する梱包仕様の提案

新型車の開発段階および製品設計段階から、SUBARUや現地生産拠点、梱包資材メーカーと協力し、品質確保を最優先に考慮した梱包仕様を提供しています。

また、自社の試験設備により実輸送環境の再現試験を行い、確実な品質担保と、最適な物流コストの両立を短納期で実現しています。これにより、お客様に信頼される物流品質とサービスを提供することができます。

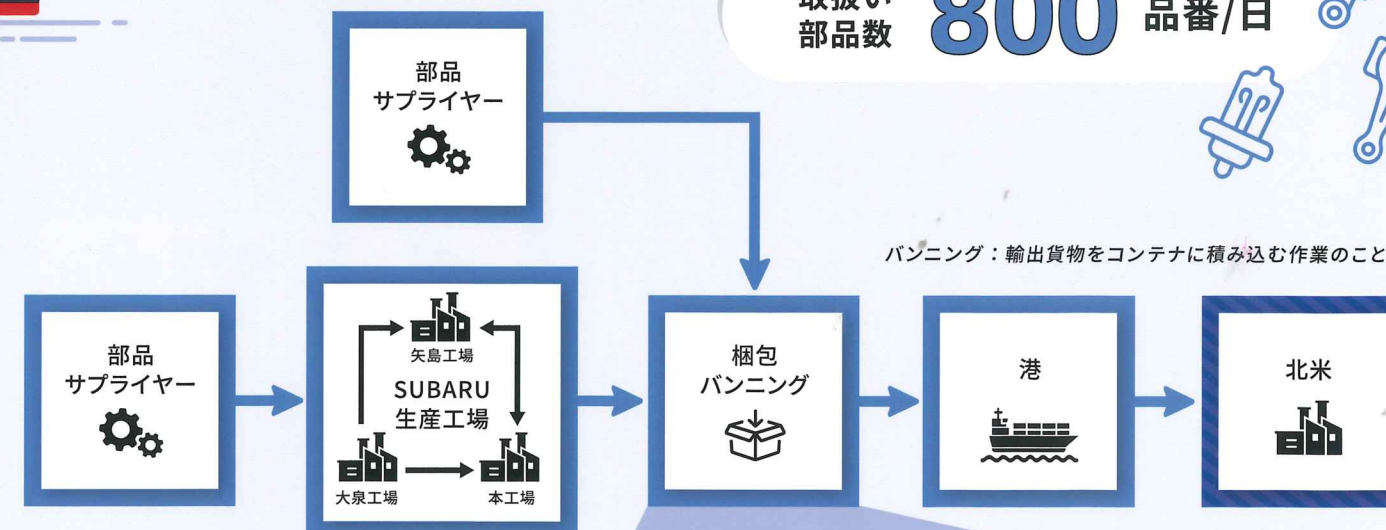
試験棟



取扱い
部品数 **800** 品番/日



バンニング：輸出貨物をコンテナに積み込む作業のこと



資材部品
納入



資材部品
供給



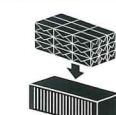
小梱包



大梱包



バンニング



出荷





自動車部品

保管輸送事業本部

Warehousing and Transportation
Business Division

SUBARUの日米工場での 車両生産を部品物流で支える

SUBARU車を生産するための部品の輸出入、国内輸送及び倉庫運営を行っています。

また、車両生産用の金型や設備、試作品の梱包輸送にも対応しています。

SUBARUの設備や部品に関する物流全般を支えることで、安定した生産活動の継続に貢献しています。



バンニングとは、輸送時に使用する

コンテナ(輸送用箱)への積み込み計画のことです。部品や荷量に合わせた最適な計画を作成することで、安全性・効率性を実現しています。



保管輸送事業 本部の取引国



海外輸送数 コンテナ **12** 本/日



保管輸送業務の流れ

海外部品を受け入れて一時倉庫に保管した後、SUBARUや部品メーカーの生産計画に合わせて、通い箱に詰め替えて輸送します。また、北米の日本部品メーカー工場向けに、部品の梱包と輸送も行っています。

膨大な部品数を扱う中で、専用システムを活用し、在庫の正確な把握と誤出荷の防止に努めることで、高品質な物流サービスを提供しています。

多様化するニーズに応える 最適物流ソリューション

部品の海外輸送・国内輸送・倉庫業のノウハウを活かし、お客様のニーズに合わせた品質・サービスを提案し、更に安全第一で貨物をお届けしています。

また、部品点数の増加に対応するため、新たな倉庫の整備や輸送ルート最適化にも積極的に取り組み、より柔軟で効率的な物流体制を構築しています。



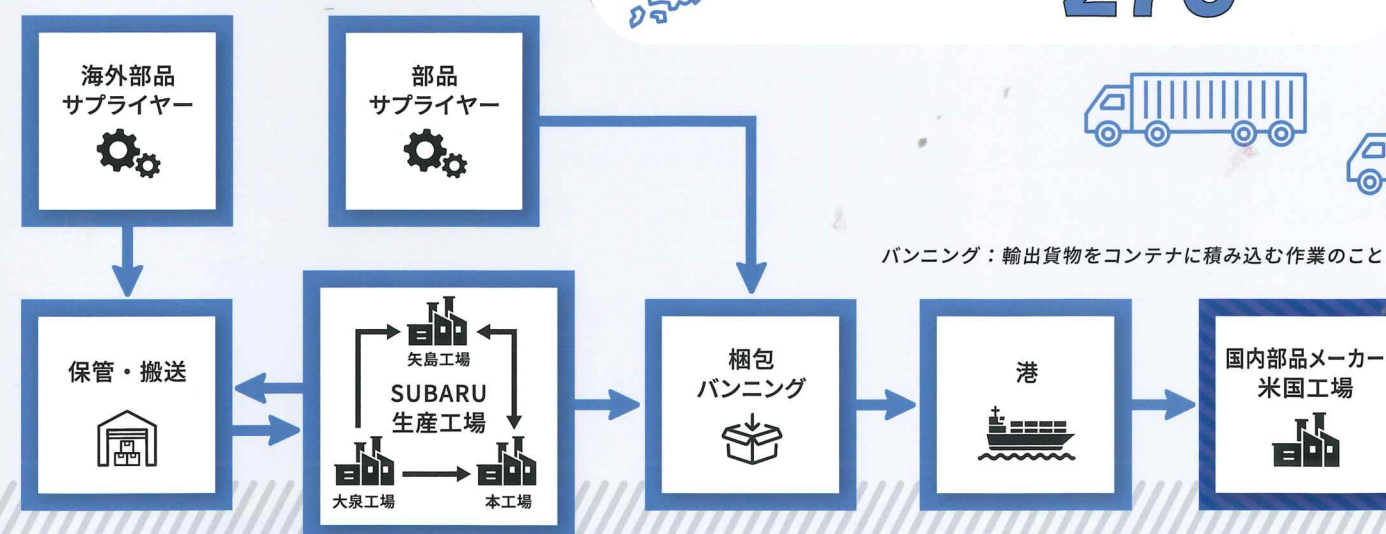
渡良瀬第2ディストリビューションセンター



国内輸送数 トラック **270** 便/日



バンニング：輸出貨物をコンテナに積み込む作業のこと





航空宇宙

航空宇宙事業本部

Aerospace Business Division

民需機や官需機の製造を支える

物流のプロフェッショナル

SUBARUの航空宇宙カンパニーは、前身の中島飛行機のノウハウを活かし、航空機部品の開発・製造、ヘリコプターの生産・整備を行っています。当社は、SUBARU工場内での航空機部品の保管・供給・配送から海外への輸出までを幅広く担当し、物流を通じて航空機製造をサポートしています。



宇都宮事業部

(株)SUBARU
航空宇宙カンパニー内

半田事業部

(株)SUBARU
航空宇宙カンパニー内

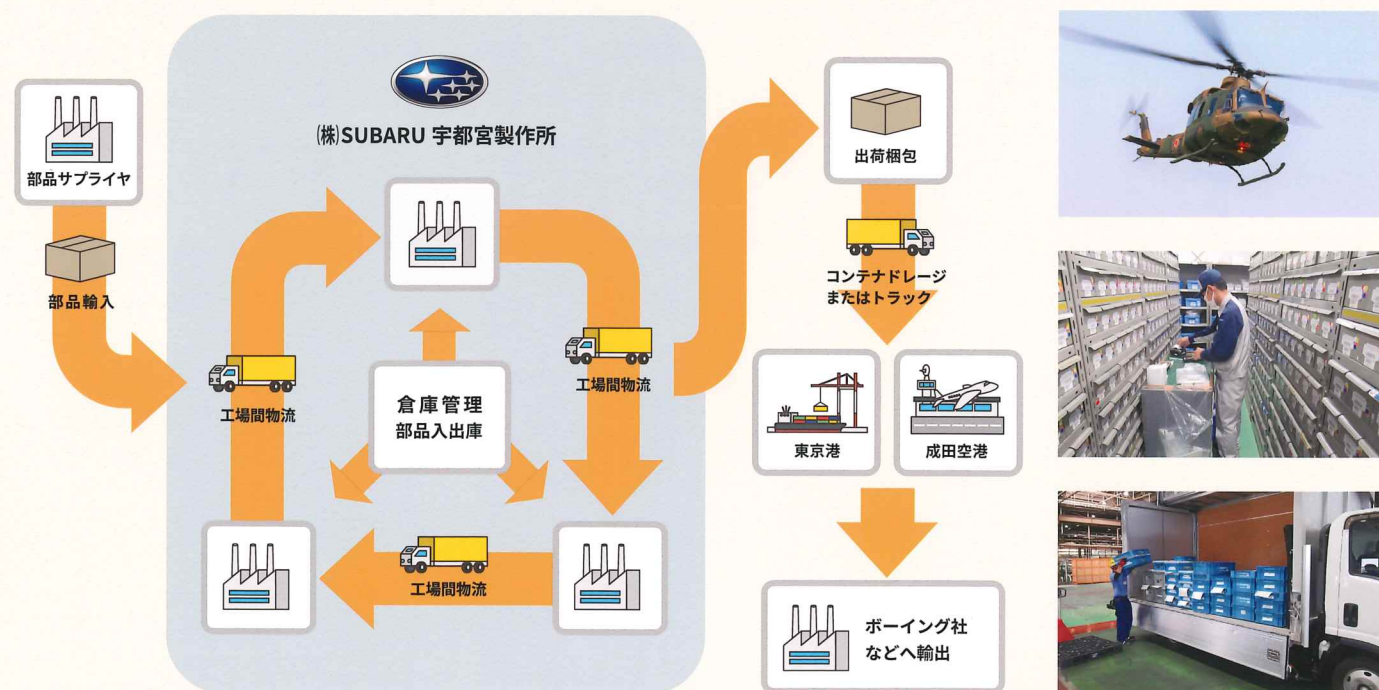
宇都宮事業所の流れ

航空機部品の
輸出入

倉庫管理・
工場間物流

荷役・
出荷梱包

SUBARU航空宇宙カンパニー宇都宮製作所内で、航空機部品の物流業務を担当しています。具体的には、SUBARUが製造・購入した部品の保管・キット化・製造工程への供給、倉庫管理、工場内の部品配送、大物部品の積み下ろし作業を行っています。また、米国向け輸出前の梱包検査や輸出書類の作成、輸送手配も担当しています。



部品取扱数 **45,000** 個



一番大きな
部品の大きさ 全長約 **10 m**



SUBARUでは航空機の
心臓にあたる”中央翼”を

製造しており、大迫力の製造工程を
間近で見ることができます。

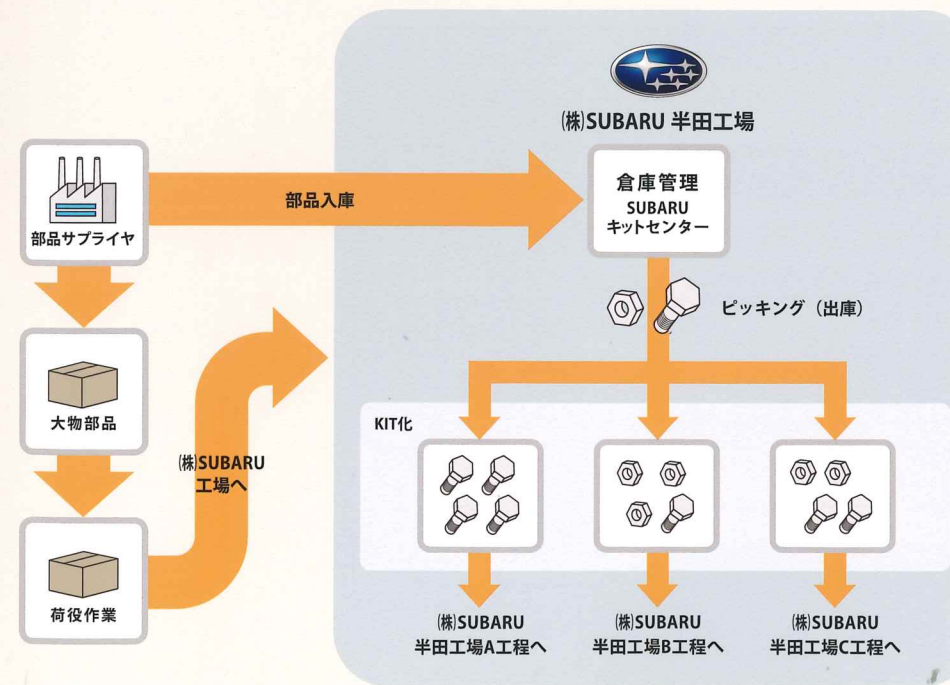
半田事業所の流れ

倉庫管理

キット化供給

荷役作業等

SUBARU航空宇宙カンパニー半田工場内で、国内外のサプライヤーからの納入品や宇都宮地区から運ばれてきた部品を保管・キット化し、必要な時に必要な分だけ、必要な場所にジャストインタイムで供給しています。また、半田工場に納入される大物部品の荷役作業も担当しています。





共通

企画管理本部

Corporate Planning Division

全社事業のコントロールタワー

経営企画部

人事部

総務部

情報システム部

品質保証部

経営・安全・品質・教育など多岐にわたる業務で会社全体を支え、SUBARUグループの物流会社としての役割の維持向上に努めています。

会社のありたい姿達成に向け 経営資源をコントロールする組織

経営企画部、人事部、総務部、情報システム部、品質保証部の5つの部で構成され、会社の中核として事業運営を支えています。これらの部は経営に直結する役割を担い、会社の方針に基づいて予算管理や人材育成、規定の見直し、インフラ整備などを行い、常に進化し続ける組織作りを目指しています。

企画管理本部

経営企画部

会社方針、中期経営企画、予算管理、経理

人事部

労働規定、採用、教育、労政、給与、健康推進

総務部

全社管理、福利厚生、安全衛生、間材調達、施設管理、CSR、コンプライアンス

情報システム部

社内システムの企画・導入・保守、情報セキュリティ、業務改善支援

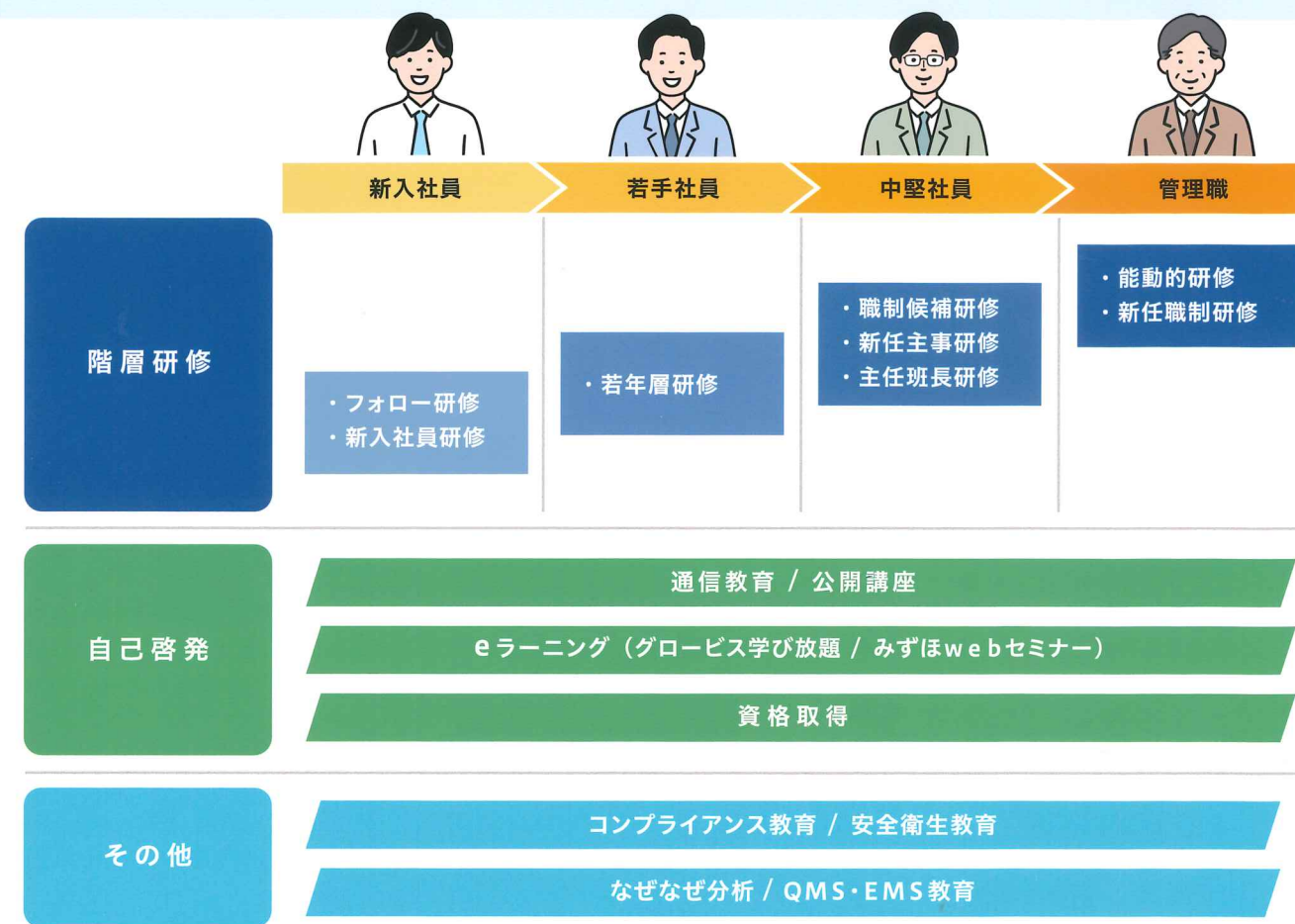
品質保証部

品質戦略・方針の策定、品質マネジメントシステム(QMS)の構築・運用、全社横断の品質活動推進、品質監査の実施、品質関連養育の実施



教育・研修

スバルロジスティクスでは、ステップアップに合わせた教育体系を整備しており、社員一人ひとりの成長に合わせて研修を受けていただいています。意欲的な従業員をサポートするための研修費補助制度などもご用意し、皆さんの成長をバックアップしています。



新入社員研修

- ◆ 内定者教育 ◆ 新入社員受入教育 ◆ フォロー研修
- ◆ ISO年度教育 ◆ ビジネスマナー研修

SUBARU主催研修

- ◆ 階層別研修 (初級管理者研修、中級管理者研修)
- ◆ マネジメント・ビジネススキル研修
- ◆ ファシリテート&コーチング

安全・CSR研修

- ◆ 安全・コンプライアンス

専門教育

- ◆ ISO内部監査員養成研修



福利厚生

SUBARUグループとして(株)SUBARUと同じ福利厚生サービスを受けられるほか、個々のライフプラン・スタイルに沿って活用できる充実した制度を用意しています。

カフェテリアプラン (マイスタイル)



給食費補助

食堂・お弁当利用費



リフレッシュ費補助

宿泊・レジャー施設利用費、スポーツ観戦・映画鑑賞費、書籍購入費など



カフェテリアプランとは?

毎年、会社が従業員へポイントを付与し、従業員がそのポイントの範囲内で会社が用意したメニューを自由に利用できる制度です。使用したポイント分は、お金に換金されて支給されます。



車検・修理費補助

車検・メンテナンス費など



健康管理費補助

人間ドック・脳ドック、医療費、予防接種費用、健康管理用品など



生活費補助

通信費、携帯等端末購入費、眼鏡・コンタクト費用など



自己啓発費補助

通信教育、外部セミナー、各種講座受講費用、資格受験費用など



育児費補助

保育所・ベビーシッターサービスなどの託児費、育児用品購入費、教育費など



介護費補助

介護サービス利用費、介護用品購入費など



住宅関連費補助

家賃や持ち家の住宅ローン費

その他の制度



スバル車購入奨励金

スバル車購入時に奨励金を支給・お得なローン(スバルクレジット)など様々な補助を受けられます。



WELBOX (ウェルボックス)

映画や遊園地のチケット代や飲食店での食事代などをお得に利用できるパッケージ型の福利厚生サービスです。



有給休暇

試用期間(入社3ヶ月間)終了後、法定以上の有給休暇が付与されます。



食堂/お弁当

栄養満点の食事をお手軽に食べることができます。



スバルトラベル

スバルトラベル*が取り扱う、お得なツアー等のご利用ができます。
※スバル興産(株)の旅行事業名称です。

ワークライフバランス

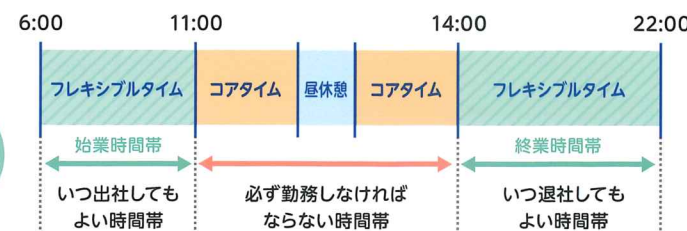
従業員のワークライフバランスをサポートするために、柔軟な働き方を実現するための制度をご用意しています。また、有給休暇を毎月1日取得することを推奨しており、リフレッシュを積極的に取り入れていただくような職場環境を整えています。



社内制度

フレックス制度

月の所定就業時間の範囲内で、日々の始業・終業時刻や働く時間を社員自身が決めることができる制度です。



※配属先の業務特性に応じて、制度の適用範囲が異なります。

時間有給

通常の有給休暇の範囲内で年間5日を上限に、1時間単位で年次有給休暇を取得できます。

特別休暇

産前産後休暇、育児休暇、看護休暇、介護休暇、慶弔休暇、リフレッシュ休暇などがあります。

在宅勤務制度

自宅にしながら情報通信機器を用いて仕事をこなせる制度です。フレックス制度も利用できます。
※配属先の業務特性に応じて、制度の適用範囲が異なります。

ワークライフバランス

年間休日

121日



平均残業時間

11.6時間/月



有給取得日数

16.0日
(年平均)

有休消化率

※単年度付与日数を分母とする

83.46%

スバルロジスティクスでは月1日(年12日以上)の有給取得を推進しています。

育休取得率 ~2025年実績



女性 100% 全国平均80%
男性 60% 全国平均27%

育休最長取得日数

547日
(1年6ヶ月)

男性育休最長取得日数



218日

男性の育児休暇取得者数も増えています!

育休時短勤務利用率 ~2025年実績



66.7%

育休復帰後の時短勤務制度
小学校卒業となる年度末まで